

第125回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年3月30日（水）16：45～16：57
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4ページ、資料1です。

【資料1】

3月29日現在の療養者の状況ですが、入院者が**241**人、うち重症者が**2**人となっております。

療養者数は、合計で**3,439**人となっております。

次に、6ページ、新規陽性者の状況ですが、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は**156.23**人で、先週23日から増加が続いております。

次に、8ページ、病床使用率の状況ですが、病床使用率は**32.4**%で、30%を超えたのは、今月13日以来となります。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数ですが、**187.60**人で、先週23日から増減を繰り返しております。

次に、13ページです。

会津若松市など4市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数ですが、郡山市及び会津若松市は依然として、**200**人を超える高い水準が継続しておりますが、新たに、須賀川市が**200**人を超え、二本松市は、再び**200**人を超えました。

次に、14ページです。

今ほどの4市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数は、田村市、いわき市、本宮市、白河市、喜多方市及び福島市の6市は、**100**人を超える水準となっております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」（**7.0**%）、「人口10万人当たりの療養者数」（**187.60**人）、

「PCR陽性率」（**15.8**%）、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(156.23人)が、レベル3、
「病床の使用率」(32.4%)、「感染経路不明者の割合」(57.9%)が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」(4.3%)が、レベル1となっております。
説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

【資料3】

17ページ、資料3をご覧ください。

1の接種実績につきましては、3月29日時点で、3回目の接種回数が、
801,484回となっております。

なお、資料右側の囲みの部分ですが、想定される3月末累計の対象者約94万人に対する接種率は85.3%となっております。

2の4月の大規模接種(追加接種)につきましては、福島市、郡山市、いわき市、喜多方市の計4市に接種会場を開設いたします。

このうち、郡山市といわき市につきましては、4月1日(金)から予約受付を開始します。詳細は次ページのとおりでございます。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

国立感染症研究所でようやくエアロゾル感染の重要性を認識したと思っております。

新型コロナウイルス感染症は呼吸器感染症ですから、エアロゾルを吸入しないようにすることが、感染対策の肝と言ってもいいと思います。

ですから我々は、どなたか人がいらっしゃる時はマスクを外せないということ、そして、逆に言いますと、マスクを外したときは非常にリスクが高まりますということだと思います。

このことは忘れてはいけません。

そして、今日は、福島県は気温が22度に上がったということです。

今までは換気と言ってたんですが、なかなか福島県で換気をするのはきつかったと思

います。

本当に皆さん、寒いところで頑張っていたいたと思います。これからもう22度になりますと、皆さん積極的に換気ができる、ウイルスを出している人がいたとしても、大量の空気で薄めてしまうということになりますと、ウイルスの1コピー、2コピーを吸い込んでも発症しませんので、ぜひ積極的に換気をお願いしたいと思います。

(知事)

【はじめに】

はじめに、一昨年(2020)年3月、福島県内で初めて、新規陽性者が確認されてから2年余りが経過しました。県民の皆さんの命と健康を守るため、長期間にわたり、昼夜を問わず、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆さんに、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。

また、感染の再拡大防止に向け、様々な御協力を頂いている、県民の皆さん、事業者の皆さんに心から感謝を申し上げます。

【現状認識】

全国においては、減少傾向が続いていた1日当たりの新規陽性者数は、4万人台で下げ止まりとなっており、増加に転じている地域も数多く見受けられます。

福島県においても、先週前半までは減少傾向にありましたが、23日から連続して前の週の同じ曜日を上回るなど、感染再拡大の様相を見せ始めています。

また、医療提供体制の負荷を示す「病床使用率」については、一昨日(28日)まで、概ね安定的に推移していましたが、昨日は、今月13日以来となる、30%台へと上昇しています。

これから新年度を迎え、人と人との交流がより活発となり、感染再拡大が加速化することが懸念されます。県民の皆さんにおいては、リバウンドの波を最小限に抑えるため、気を緩めることなく、慎重な行動をお願いします。

【感染拡大防止重点対策について】

学校等も春休みに入り、人の移動も多くなるこの時期は、特徴的な感染事例の一つとして、帰省や会食に伴う感染が挙げられます。

例えば、祖父母のお宅などに御家族が帰省された際に感染が広がってしまうことがあります。家族内感染を防ぎ、特に高齢者の方に感染を拡げないためにも、御家族全員で

感染防止対策の徹底をお願いします。

また、送別会、歓迎会など会食の機会が増える時期です。会食等をされる際は、感染対策が徹底された飲食店を利用し、体調不良時の参加や、マスクなしの会話などは控えてください。

さらに、年度の変わり目で仕事も忙しく、無理をして出勤したことにより、感染が職場内で広がる事例なども見られます。発熱やのどの痛みなど、何らかの症状がある場合や、濃厚接触者となった場合には外出・出勤を控えてください。

先ほど申し上げたように、県内の感染状況は増加に転じており、再拡大の様相を見せ始めています。このため、入学、進学、就職、異動など、新年度の環境変化がある程度落ち着く来月17日まで、「感染拡大防止重点対策」を延長することといたします。

第6波の特徴である、子どもへの感染拡大を抑え込み、重症化リスクの高い高齢者に感染を拡げないためにも、子ども、高齢者のいる御家庭を始め、施設管理者等、関係の皆さんにおいては改めて感染対策の確認をお願いします。

また、旅行や帰省等、移動されるときには、御自身の体調管理や移動先における感染情報の把握など、引き続き感染対策を徹底してください。

次に、「郡山市、会津若松市、二本松市、須賀川市」の皆さんにお願いです。この4市については、特に、感染の高止まり、又は、感染拡大の傾向が見られます。濃厚接触者と判明した場合などは、御家庭でも感染対策を徹底し、同居する御家族も数日程度は出勤等を控えるなどの御検討をお願いします。また、学校、幼稚園、保育所などにおいても、引き続き、感染拡大防止に向けた対策の御検討をお願いします。

【会議総括】

全国的な状況から見ても、本県の感染状況は、しばらくの間、高いレベルで推移することが予想されます。

県民の皆さん、事業者の皆さんには、引き続き、「感染拡大防止重点対策」に取り組んでいただくとともに、年度始めの各種行事における感染防止対策について、御理解、御協力を頂きながら、確実にリバウンドを食い止めていくことが重要です。

「依然として予断を許さない状況が続いている」との警戒感を県民の皆さんと共有し、慎重な行動を取りながら、全県が一丸となって、第6波の早期収束を実現させ、穏やかな日常生活を取り戻し、社会活動・経済活動の活性化を図っていきたいと考えています。

県民の皆さん、事業者の皆さんにおいては、引き続き御苦勞をお掛けしますが、御理解

と御協力をよろしく申し上げます。

各部局においては、今後も強い危機意識を持って、県民の皆さんの命と健康を守り、県民生活の安全・安心の確保に向け、関係機関と連携しながら、迅速・的確に対応を進めてください。

【最後に】

結びに、この場を借りて3月16日に発生した福島県沖地震についてお話をしたいと思えます。

昨日、市町村を訪問し、地震への対策についてお話を伺っている中で、それぞれの住居等を片づける際、こういった場合の災害ボランティアが不足しているという現状を伺いました。

県民の皆さんにおいては、感染対策を徹底した上で、ボランティアに参加してもいいよという気持ちをお持ちの方には、御協力をいただきますよう、この場をお借りしてお願いいたします。